

ロレアルグループ、化粧品業界初の「グローバル評価センター」を開設

成分、製品の安全性と効果効能をより早い段階で特定

<報道資料>

2011年4月11日

【2011年4月11日パリ発】 --- ロレアルグループ(本社:パリ)は本日、フランスのリヨン市(ジェルラン)に「グローバル評価センター」を開設しました。当センターは、化粧品の成分および製品の安全性と効果の評価を専門とする研究センターです。当センターは、過去30年間の研究および投資をもとに、将来のニーズを見据えたロレアルのビジョンを具現化したものです。

ロレアルグループのジャン-ポール・アゴン社長兼CEOは、「化粧品業界の世界的リーダーとして、ロレアルは、製品評価およびイノベーションを牽引するパイオニアであり続けるとともに、企業の社会的責任を果たしていくことを目指しています。ロレアルのグローバル評価センターは企業ミッションである、企業倫理と企業責任に基づいたイノベーションと製品を提供するという当グループの取り組みの現れです」と、述べています。

ユニークなグローバルネットワーク

ロレアルのグローバル評価センターは、化粧品原料および製品の安全性と効果を、早い段階により高い確率で予測するために、数多くの知見と、組織工学、分子設計、画像技術、モデリング、自動試験プラットフォームなどの専門技術を駆使して、イノベーションに基づいた総合的な評価体制を実現します。

2000年の約8億円(700万ユーロ)、2010年の約10億円(900万ユーロ)を合わせ、合計約18億円(1,600万ユーロ)を投じた当センターは、今後、ロレアルグループの評価活動を積極的に推進する中心的な役割を担います。再構成した皮膚や角膜のモデルを年間13万点以上生産できるほか、2011年には、1,000点以上の製品の安全性(処方、原材料など)と、100種類の化粧品原料の効果を評価することが可能となります。

グローバル評価センターは、国際的なハブとして、フランス、中国、シンガポールの研究開発と連携を図り、ネットワークの中核として、ロレアルグループの他国のリサーチ・アンド・イノベーションセンターからの情報を採り入れながら、当グループの総合的な評価戦略を展開していきます。同評価センターはまた、ロレアルの評価戦略の抜本的な変革を体現しており、代替法から予測評価へと、手法において技術的、科学的に大きく前進したことを象徴しています。

リサーチ・アンド・イノベーション副社長のローラン・アタルは、次のように説明しています。「予測する能力があるということは、優れた研究開発能力を持ち合わせている証です。ロレアルのグローバル評価センターは、研究開発の分野における当社の壮大なビジョンを体現する施設として、新しい効果効能の評価法の発見を促すとともに、画期的なイノベーションへの道を切り開くことにもなります。」

ロレアルの研究開発戦略は、企業責任と持続的イノベーションにあり

ロレアルは1世紀以上にわたって、美を求める数百万人の女性や男性のニーズに応えるために、科学の限界を乗り越えて前進してきました。ロレアルはさらに、世界中のすべての人々に品質、効果、安全性において最高の化粧品を提供するために、イノベーションに取り組んでいます。

こうした企業姿勢は、世界の多様性に配慮しながら、消費者の安全を第一に、環境に優しい製品開発に注力していくというイノベーションの指針にも反映されています。

ロレアルの研究開発では、新たなる科学や技術分野への投資を積極的に進めています。例えば生物学の分野では、ゲノム解析の進歩や幹細胞研究の進展、再構成皮膚モデルの積極的な利用を通じて、多様な人種における皮膚や毛髪に関する老化現象の特性について理解を深めると同時に、新たな細胞や分子を特定し、効果をより早く正確に予測することも可能となります。



フランス・リヨン市(ジェルラン)に開設されたロレアルグループの「グローバル評価センター」